

詰将棋全国大会レポート（１）

全詰連全国大会

１９６２年１０月

名古屋市 伏見荘にて

参加者 ４７名

詰将棋パラダイス １９６２年１２月号より

全誌連全国大会

四十七士集合

東京・静岡・長野・新潟・大阪・山口・岡山・神戸・舞鶴・芦屋・奈良・御所・岐阜
常滑・守山・岸和田・泉大津・江南・名古屋

★昭和37年10月28日後1時より

★名古屋市中区城内町 伏見荘にて

★参加者(敬称略)

(東京都) 小林豊、岩木錦太郎、伊藤三雄、藤井国夫、北村潔、古味明井上栄二郎、堀隆興、張道涵(関和夫)

(静岡県) 近藤善太郎

(長野県) 関 正宏

(新潟県) 石沢孝治、高橋守

(大阪市) 北川明、内池正幸、和田

清澄、長谷繁蔵、伊藤純男

(布施市) 岡田 敏

(山口県) 安達栄司

(岡山県) 田中颯香

(神戸市) 森田昌弘、大橋雅道、藤倉満

(芦屋市) 西村英二、田宮克哉

(舞鶴市) 井島寛

(奈良市) 里見義周

(御所市) 中田幸男、山本勝士

(岐阜市) 篠田義雄

(土岐市) 大山 峻

(常滑市) 伊奈正夫

(守山市) 鹿間郁夫

(岸和田市) 川崎 弘

(泉大津市) 横田進一

(江南市) 石川幸雄

(津島市) 岩井則幸

(名古屋) 伊藤鏡夫、平井孝雄、

東英男、梶田錦一、清水一男、酒井

克彦、橋本守正、主幹

計四十七名

★篤志寄付者

市田霧山、岩木錦太郎、竹森米春

里見義周、藤倉満、金子治雄各氏

★前夜祭

石川幸雄氏が編集部へ一番乗り、次いで田中颯香氏到着。橋本守正君も来たので八丁へ。すでに里見義周氏藤井国夫氏到着。更に大阪軍の岡田北川、川崎、長谷、和田、横田、森田の各氏到着。十三人で盛大な前夜祭。午前四時打ち上げ。東京の張道涵君は未成年に付直ちに旅宿へ。

★大会の状況

①開会の辞、主幹より簡単に開会のあいさつ。

②出席者の自己紹介

いつも思うのだがこれが一番意義深い。各人とりどりに個性がにじみ出ていて面白い。(その中からピックアップしたものをも本号の「一室一言」に記録しておきました。)

③看寿賞授与

主幹から田中鶴看氏に対して賞状一通

と次の副賞が授与された。

将棋盤 一面(長谷繁蔵氏提供)

電気製品一個(橋本守正氏)

帽 一個(伊藤三雄氏)

古図式全書全巻三部宛 全詰連より

詰バラ詰通各一年分

満場われるような拍手、田中氏も満面の笑み。

④経過報告

主幹より本日まで
の詰連の活動状況
について報告。

⑤祝辞祝電披露

静岡県 村木徳氏
(小林氏代読)

兵庫県 小西逸生氏(西村氏代読)

東京 橋二叟氏(岩木氏代読)

祝電披露(主幹より披露)

二上八段、佐々木秀雄氏、鳥越九郎

氏、本城実氏

⑥競技会

二上八段の作品15局を課題として、
30人の方に暗算による詰競技をして
もらう。入賞者は次の順。

藤井国夫、北川明、森田昌弘、近藤

善太郎、橋本守正、張道涵、横田進

一、田中鶴看、三桂小伯、北村潔、

以下の各氏にも夫々賞品を提供した

⑦寄せ書き

出席者全員に寄せ書きをしてもらう
(次ページのトップパン参照)

⑧連将棋

選抜により東西三名宛の選手をえら
んで連将棋一局。



(写真は看寿賞授賞
の光景)

寄世書

祝 全 國 諸 君
 一九六〇年一月二十八日
 皇 朝 宗 廟 興 隆
 國 運 昌 隆
 萬 事 如 意
 百 年 好 景
 天 長 地 久
 萬 古 流 芳
 國 泰 民 安
 風 和 日 麗
 雨 後 天 睛
 雲 從 足 下 生
 月 在 掌 中 紅
 龍 騰 雲 霧
 鳳 舞 碧 空 中
 山 舞 龍
 水 滂 騰
 花 開 五 福 地
 鳥 報 三 春 年
 人 喜 萬 事 成
 春 風 吹 綠 柳
 春 雨 潤 紅 桃
 春 燕 剪 輕 盈
 春 草 綠 如 絨
 春 色 滿 人 間
 春 光 不 負 人 心
 春 意 正 濃 時
 春 華 正 茂 日
 春 和 景 明
 春 風 吹 綠
 春 雨 潤 紅
 春 燕 剪 輕
 春 草 綠 如
 春 色 滿 人
 春 光 不 負
 春 意 正 濃
 春 華 正 茂
 春 和 景 明
 春 風 吹 綠
 春 雨 潤 紅
 春 燕 剪 輕
 春 草 綠 如
 春 色 滿 人
 春 光 不 負
 春 意 正 濃
 春 華 正 茂
 春 和 景 明
 春 風 吹 綠
 春 雨 潤 紅
 春 燕 剪 輕
 春 草 綠 如
 春 色 滿 人
 春 光 不 負
 春 意 正 濃
 春 華 正 茂
 春 和 景 明
 春 風 吹 綠
 春 雨 潤 紅
 春 燕 剪 輕
 春 草 綠 如
 春 色 滿 人
 春 光 不 負
 春 意 正 濃
 春 華 正 茂
 春 和 景 明
 春 風 吹 綠
 春 雨 潤 紅
 春 燕 剪 輕
 春 草 綠 如
 春 色 滿 人
 春 光 不 負
 春 意 正 濃
 春 華 正 茂
 春 和 景 明

46 步、54 銀、47 銀、94 步、56 銀、52 金
 69 玉、63 銀、48 銀、74 步、16 步、14 步
 ① 張 ② 伊 ③ 古 ④ 安 ⑤ 近 ⑥ 里

9	8	7	6	5	4	3	2	1
皇	拜		皇	皇	皇	皇	皇	皇
香	桂	銀	金	玉	玉	銀	桂	香
步	角	步	步	步	步	步	步	步

東 步 步

34 飛、62 銀、24 飛、23 步、28 飛、64 步
 24 步、同步、同飛、82 飛、87 步、41 玉
 78 金、85 步、58 金、86 步、同步、同飛
 26 步、34 步、76 步、84 步、25 步、32 金
 ① 張 ② 伊藤 ③ 古味 ④ 安達 ⑤ 近藤 ⑥ 里見

東東軍 ① 張 道南
 西軍 ② 伊藤 鎭夫
 ③ 古味 明
 ④ 安達 榮司
 ⑤ 近藤善太郎
 ⑥ 里見 義周

96歩、63金、36歩、73桂、47金、52玉
 37桂、65歩、68玉、64金、15歩、同歩
 14歩、38歩、同飛、66歩、同歩、84飛
 (にて左図)

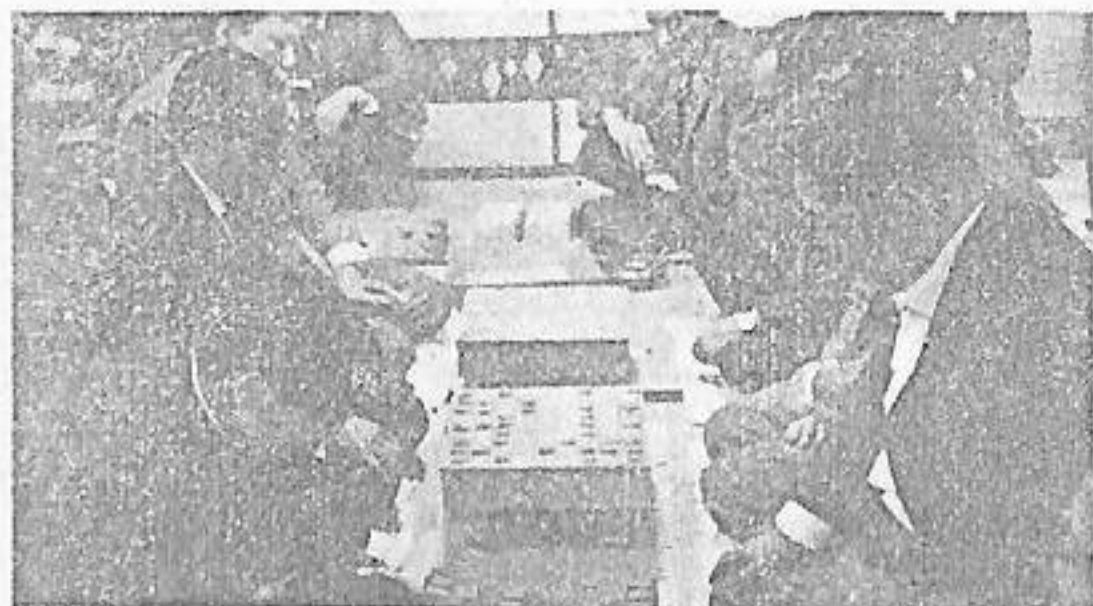
王 飛 龍 金 銀 香 桂 歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1
皇				王	飛	龍	皇	皇
				飛	飛		飛	
飛	皇	飛	飛					歩
								飛
								歩
								桂
								飛
								香

東 ■ 歩歩

①張 ②伊 ③古 ④安 ⑤近 ⑥里
 28飛、75歩、15香、44角、35歩、12歩
 36金、76歩、24歩、同歩、45歩、22角
 25歩、同歩、24歩、77歩成同角、75金
 25飛、85桂、23歩成77桂成同桂、16角
 26飛、76歩、32と、49角成31と、66角
 67金打77歩成同金直76歩66金左、同金
 22飛成42桂、66金67歩、同銀、77金69
 玉、67金、41角、61玉62金まで百一手

(写真は連将棋対局風景、少し暗くてよく分りませんが：)



にて東軍の勝

⑨閉会の辞

王 飛 龍 金 銀 香 桂 歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1
皇			王	角	と	飛	皇	皇
			金	飛		龍		
飛	皇		飛	歩			歩	香
				金			金	桂
				歩				
								歩
								桂
								歩
								香

東 ■ 銀桂歩四

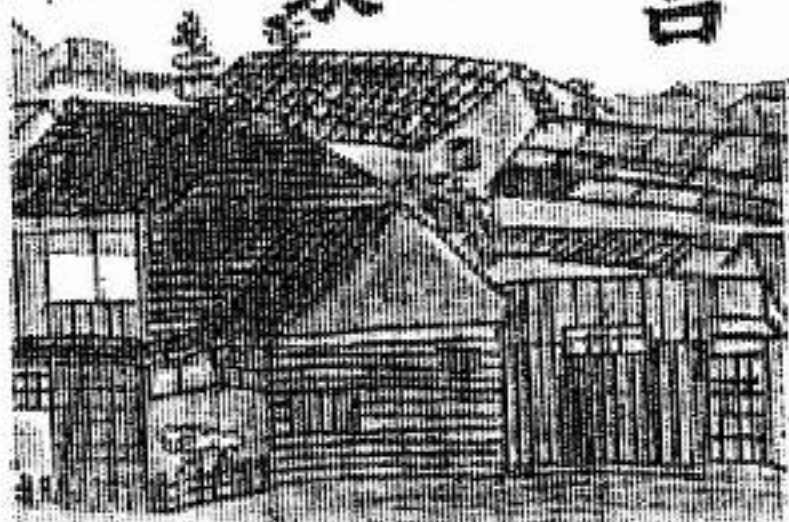
⑩懇親会

午後六時すぎより懇親会に入るとうやら酒というものは人間同士の接近に有効であり詰棋の話は絶好の肴。快談、快笑、夜の更けるのも忘れ、浮世を忘れての清談が続き、いつ果てるとも知れなかった。

旅宿の関係で二手に分れ、有志は八丁に行つて又もや快談快談、十二分に歡をつくした。

☆全国各地から参集の各氏に厚く御礼申し上げます。(詰連本部)

一言一家



●物言わぬは腹ふくるる樂、とか。
大いに「一言」して下さい。随時、
随言、大いに歓迎：□

●最近特に変化長手順を不可とする論
(傾向)が強いが、私の見解を以て
すれば、それをあまりに強調すれば
詰棋の寿命を縮めると思う。(昨今
盛んに言われている行き詰まり)
そうは言っても、変化長をふくむ作

品は、作品価値を減点されるのは止
むを得ないことは認める。ただ、こ
れを絶対に認めないというのは行き
過ぎだ、と言いたいのだ。変化長を
含まない70点の作品より、変化長の
減点を10点としても、90点の作品(減
点分を差引いて80点)の方が上に
あるとしたいのだ。これは作家の
立場からの発言である。

鳴門市 大道 政治

●「阪神」が優勝したわけ。今年はト
ラ年だモンナ。宮城県 藤本青田
●本誌で一番印象に残ったのは、今年
の新年号が昨年12月中に着いた事。
今年も是非早く送本されたし。

東北 鬼多腹券字

●人間は最も少ない報酬で最も多く、
最も真面目に動くのがエライ人なん
だ
— 正岡 子規

●私が選んだ人気棋士は左の通り

一位 升田 二位 二上
三位 塚田 四位 加藤(一)

五位 大山 ハリダシ 本間
山形県 佐藤 敏
●現代は無責任時代といわれている。
無責任時代には無責任を多くしたも
のが勝也。心得たし。

山形県 一無 法松

★以下は詰連大会での録音：

●僕はまだ中学生です。指将棋も強く
なりたいし、詰棋の方でも皆さんに
負けないう頑張ります。どうぞよ
ろしく。
東京 張 道涵

●将棋の本だけは一応崩れておるつも
りです。門戸開放主義ですから、ど
なたでも気軽に見にいらして下さい
よろこんでお見せいたします。

関西支部長 芦屋 西村 英二

●今日お集りの中では私が一番遠方の
ようです。ごらんの通りオトナシイ
ものですから詰棋の方も筋の良いも
のが多いのです。これはどうも性格
で仲々変えられないようです。

山口 安達 栄司

雷名はかねがね伺っておりました里見先生や、鬼才田中鵬君氏や、その他一騎当千の勇士の方々や、かねて一度はお会いしたいと思っていた主幹にもお会いでき、種々有益な御意見を拝聴できて、こんなうれいこととはありません。帰りましたら支部の連中にもこの盛況をよく話して、会員の増加に努力するつもりです。

舞鶴 井島 寛

私のような死火山的人間がこういう会に参上するのも、月報の昔から詰棋とは切っても切れない縁につながっておるからで、いつまでも傍観者且つ顧問のつもりで、詰棋の発展に関心を持ってゆきたいと思えます。こんど奈良の方へかわりました。左記ですから、この方面に来られましたらお立寄り下さい。

奈良市三条町三四

日本火災海上奈良支部長

里見 義周

私は隣の中田幸男君のすすめで最近入会したばかりの新入生です。これから頑張りますので、どうぞよろしく。奈良県御所市 山本 勝士

私も主幹などの御指名で詰連の関東支部長を拝命しましたが、微力でお恥しい次第です。然し皆さんの御協力で連盟の発展につくしたいと存じます。どうぞよろしく。

東京 小林 豊

私もいよく難解作を以て諸賢に挑戦いたしますから、どうぞよろしく

大阪 横田 進一

われわれ、詰棋愛好家にとって詰棋の存在は貴重のものであり、更にはこの運営の責任者たる主幹の努力にはいつも感謝しております。われわれはこれを盛り上げて一層の発展を期待したいものです。

東京 岩木 錦太郎

私は東京で大道棋を業とするものです。東京の会にも出席しましたが、

本日も皆さんにお会いするのが楽しみでまかり出ました。大道棋の正しい営業に努力しております。

東京 古味 明

詰パラ伊奈製陶支部を結成し六〇人の会員を擁しております。またへたな作品を時々お目にかけております

常滑市 伊奈 正夫

主幹からお前が一枚加わらないと面白味足らないからと言われて、早速飛んでくるという次第です。家内と子供一人、いつでも歓迎しますからどうぞお立寄り下さい。

大阪 内池 正幸

高橋守さんと二人で新潟から出席いたしました。国鉄につとめております。今後は新会員の獲得に努めます

新潟 石沢 孝治

通称ピンさんです。家内との二人暮らし、詰棋と麻雀だけがすべてです。どうぞお遊びに。大阪 岡田 敏

しその他は残念ながら割愛します。